平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月29日

上場会社名　株式会社 アドテック　　上場取引所　大
コード番号　6840　URL　http://www.adtec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 厚坂 誠
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長　(氏名) 薄木 豊　TEL 03-5778-9888

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　未定
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	760	19.9	△8	—	△7	—	△2	—
24年3月期第2四半期	634	△39.4	△4	—	0	—	1	△45.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△0.25	—
24年3月期第2四半期	0.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	1,255	1,027	81.8	121.56
24年3月期	1,426	1,142	80.1	115.23

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　1,027百万円　24年3月期　1,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	16.1	30	98.4	30	71.4	24	46.2	2.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	10,266,720 株	24年3月期	10,266,720 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,817,636 株	24年3月期	348,864 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	9,820,568 株	24年3月期2Q	9,918,053 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きを実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
第２四半期累計期間 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）セグメント情報等 …… 7
４．補足情報 …… 7
販売の状況 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により一部に緩やかな回復が見られるものの、欧米による景気後退、新興国経済の減速、円高の長期化、株価低迷に加え、外交問題などもあり、その先行きは不透明な状況にあります。

当社の主要ユーザーであります電気機械・電子部品メーカーは世界経済の減速及び長期化する円高等の影響により厳しい状況での推移となりました。これに伴い当社の販売状況は厳しさを増しております。

こうした状況の中、第２四半期累計期間の売上高は、メモリモジュール製品では169百万円（前年同期比35％減）となり、フラッシュメモリ製品では429百万円（前年同期比64％増）となり、その他製品群につきましては160百万円（前年同期比45％増）となりました。しかしながら総体的な売上原価が上がったため売上総利益につきましては138百万（前年同期比8％減）となりました。販売費及び一般管理費は147百（前年同期比5％減）となり、営業損失は8百万円（前年同期は4百万円の営業損失）、経常損失は7百万円（前年同期は0百万円の経常利益）、四半期純損失は2百万円（前年同期は1百万円の四半期純利益）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期末における流動資産の残高は1,173百万円（前事業年度末は1,330百万円）となり前事年度末と比較して156百万円減少しました。主な要因として、現金及び預金が147百万円、受取手形及び売掛金が114百万円減少したほか、商品及び製品が57百万円、前渡金が22百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第２四半期末における固定資産の残高は81百万円（前事業年度末は95百万円）となり前事業年度末と比較して13百万円減少しました。主な要因は有形固定資産が4百万円、無形固定資産が2百万円、その他（敷金）が14百万円それぞれ減少し、他方、その他（長期貸付金）が10百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当第２四半期末における流動負債の残高は179百万円（前事業年度末は233百万円）となり前事業年度末と比較して54百万円減少しました。主な要因として、買掛金が10百万円、短期借入金が10百万円、その他（未払金及び未払費用）が13百万円、その他（前受金）が7百万円、その他（預り金）が3百万円、賞与引当金が7百万円、未払法人税等が2百万円それぞれ減少いたしました。

（固定負債）

当第２四半期末における固定負債の残高は48百万円（前事業年度末は49百万円）となり前事業年度末とほぼ同額となりました。当第２四半期累計期間において主な変動はありませんでした。

（純資産）

当第２四半期末における純資産は1,027百万円（前事業年度末1,142百万円）となり前事業年度末比較して115百万円減少しました。主な要因として、自己株式が113百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローは16百万円の獲得（前年同期は46百万円の支出）、投資活動によるキャッシュ・フローは41百万円の支出（前年同期は0百万円の獲得）、財務活動によるキャッシュ・フローは123百万円の支出（前年同期5百万円の支出）等の結果により当四半期累計期間末の残高は前事業年度末と比べ147百万円減少の633百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は16百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少により114百万円獲得、他方、棚卸資産の増加57百万円、仕入債務の減少10百万円、前渡金の増加22百万円による支出等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の支出は41百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出16百万円、投資有価証券の取得による支出30百万円、貸付金による支出10百万円、他方、差入保証金の回収による収入15百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の支出は123百万円となりました。主な要因は短期借入金の純減10百万円、自己株式取得による支出113百万円によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日公表いたしました平成25年３月期通期業績予想より変更はございません。

尚、上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、第２四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第２四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ120千円減少しております。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	781,170	633,258
受取手形及び売掛金	286,701	171,798
商品及び製品	84,637	142,159
仕掛品	3,247	3,432
原材料及び貯蔵品	56,493	56,308
前渡金	68,992	91,502
その他	54,097	76,454
貸倒引当金	△4,722	△1,248
流動資産合計	1,330,620	1,173,665
固定資産		
有形固定資産	37,667	33,258
無形固定資産	14,784	12,018
投資その他の資産		
その他	73,760	68,463
貸倒引当金	△30,548	△32,067
投資その他の資産合計	43,212	36,395
固定資産合計	95,664	81,672
資産合計	1,426,285	1,255,338
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,286	26,995
短期借入金	111,650	101,630
未払法人税等	5,343	2,590
賞与引当金	12,500	8,800
その他	67,197	39,684
流動負債合計	233,978	179,699
固定負債		
退職給付引当金	18,260	17,341
資産除去債務	3,964	3,964
その他	27,261	27,291
固定負債合計	49,487	48,596
負債合計	283,466	228,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	541,856	541,856
利益剰余金	33,028	30,539
自己株式	△130,972	△244,078
株主資本合計	1,143,912	1,028,317
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,093	△1,275
評価・換算差額等合計	△1,093	△1,275
純資産合計	1,142,818	1,027,041
負債純資産合計	1,426,285	1,255,338

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	634,059	760,403
売上原価	483,296	621,714
売上総利益	150,763	138,689
販売費及び一般管理費	155,123	147,388
営業損失（△）	△4,360	△8,699
営業外収益		
受取利息	133	77
受取配当金	10	12
為替差益	3,349	2,391
雑収入	1,738	1,352
営業外収益合計	5,231	3,833
営業外費用		
支払利息	429	311
自己株式取得費用	－	410
貸倒引当金繰入額	－	1,519
営業外費用合計	429	2,241
経常利益又は経常損失（△）	442	△7,107
特別利益		
移転補償金	－	6,111
新株予約権戻入益	5,084	－
特別利益合計	5,084	6,111
特別損失		
固定資産除売却損	37	165
投資有価証券評価損	2,058	－
特別損失合計	2,096	165
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	3,429	△1,161
法人税等	1,734	1,327
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,695	△2,489

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	3,429	△1,161
減価償却費	7,871	10,961
投資有価証券評価損益（△は益）	2,058	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,185	△1,954
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,275	△3,700
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,629	△919
受取利息及び受取配当金	△143	△89
支払利息	429	311
為替差損益（△は益）	△63	△212
売上債権の増減額（△は増加）	△21,969	114,903
たな卸資産の増減額（△は増加）	935	△57,521
仕入債務の増減額（△は減少）	△25,303	△10,290
前渡金の増減額（△は増加）	△4,137	△22,509
その他	△1,471	△6,886
小計	△43,195	20,934
利息及び配当金の受取額	143	89
利息の支払額	△429	△311
法人税等の支払額	△3,388	△4,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	△46,869	16,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,605	△16,815
投資有価証券の取得による支出	－	△30,000
貸付けによる支出	－	△10,000
貸付金の回収による収入	88	－
敷金及び保証金の回収による収入	3,230	15,088
保険積立金の解約による収入	2,965	－
その他	2,223	143
投資活動によるキャッシュ・フロー	901	△41,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,334	△10,020
自己株式の取得による支出	△7	△113,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,341	△123,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	212
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△51,246	△147,912
現金及び現金同等物の期首残高	826,939	781,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	775,692	633,258

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年９月18日開催の取締役会において自己株式の取得に係る事項について決議し、実施いたしました。その結果、自己株式が当第２四半期累計期間において113,105千円増加し、第２四半期会計期間末において244,078千円となっております。

（６）セグメント情報等

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

４．補足情報

販売の状況

品目	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	前年同期比（％）
メモリモジュール製品（千円）	169,730	64.8
フラッシュメモリ製品（千円）	429,892	164.3
その他周辺機器（千円）	160,781	145.2
合計（千円）	760,403	119.9

（注）上記金額には、消費税は含まれておりません。